



平成 23 年 12 月 22 日

各 位

社 名： 株 式 会 社 ア ー ク  
代 表 者 名： 代 表 取 締 役 社 長 鈴 木 康 夫  
(コード番号： 7873 東証第一部・JASDAQ)  
問 い 合 せ 先： 執 行 役 員 吉 田 正 明  
TEL： 06 (6260) 1801

### 飛騨市神岡町内における油流出事故について（第 3 報）

当社神岡工場（以下「神岡工場」）敷地東側に流れる吉田川への油流出事故について、当社は、平成 23 年 12 月 8 日付で統括本部及び神岡工場に事故調査本部を設置し、これまで、流下拡散防止対策の実施と、事故原因の特定のための調査活動に注力してまいりました。今後は、地域住民の皆様の安心と安全を確保するための恒久的対策を図ることに重点を置くため、本日付で事故調査本部から事故調査対策本部に移行し、引き続き活動してまいります。なお、本件に関し、現状の経過状況につきまして、下記のとおりご報告いたします。

#### 記

##### 1. 事故原因

神岡工場の工場暖房用の灯油を貯蔵する地下石油タンクに接続した配管が破損していた期間に、その亀裂箇所より漏れた灯油が、神岡工場壁面と地表コンクリートの間の 5mm 程度の隙間から土壤に染み込み、その一部が河川に流出したものとされます。

現時点におきましては、原因と思われる破損していた配管の補修は完了しており、当該箇所からの漏出は発生しておりません。

##### 2. 今後の対策

配管の亀裂箇所から漏れた灯油は、そのほとんどが地表に出ず土壤に染み込んでいる状態であると推察されます。当社と致しましては、今後は土壤の汚染状況を把握するための調査を行ったうえで、速やかに土壤の除去等の対策を講じることで、河川への恒久的な流出防止を図るべく、当該対策を早急に行ってまいります。なお、今後のスケジュールにつきましては、下記の通り予定しております。

① 概況調査完了 平成 24 年 1 月中旬（予定）

② 汚染土壤の除去等の完了 平成 24 年 2 月中旬（予定）

また、上記対策により汚染土壤の除去等の対策が完了されるまでの間に想定される河川への流出につきましては、地域住民の皆様の安全を最優先に、引き続きオイル吸着マットや活性炭マットの設置及び交換、並びにオイルフェンスの設置を継続することで、流下拡散防止対策を並行して図ってまいります。

当社は、事故発生以降、岐阜県飛騨振興局環境課等の監督官庁のご指導を頂きながら調査・対策活動を行ってまいりました。今後も一日も早い安全確認が得られるよう、対策を講じてまいります。

地域住民の皆様及び関係者の皆様には、大変なご心配とご迷惑をお掛けしておりますことを深くお詫び申し上げます。

以 上